

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会

第13回委員会

日時：令和7年3月17日(月) 10:00～12:00

場所：尾原ダム管理支所 会議室

議事次第

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 出席者紹介
4. 議 事
 - (1) 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告
 - (2) 令和6年度のプロジェクト実施状況
 - (3) 令和7年度の実施プロジェクト(案)
5. 閉 会

●配布資料

資料-1：尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告

資料-2：令和6年度のプロジェクト実施状況

資料-3：令和7年度の実施プロジェクト(案)

参考資料：第12回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨

参考資料：令和6年度のプロジェクト実施状況

参考資料：尾原ダム水源地域ビジョン第2期 前期版

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 第13回委員会

出席者名簿

(敬称略)

所 属 等	氏 名	備 考
島根大学 教育学部 教授	作 野 広 和	
温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」 会長	村 尾 富 義	
NPO法人奥出雲布勢の郷 理事長	安 部 弘 美	
とんぼの会 会長	糸 原 健 二	代理：事務局 山田 幸則
雲南市 市長	石 飛 厚 志	
NPO法人さくらおろち 理事長	堀 江 研 次	
奥出雲町 町長	糸 原 保	代理：定住産業課長 石原 和夫
島根県 土木部 斐伊川神戸川対策課長	稲 田 久 人	
島根県 雲南県土整備事務所長	綿 貫 純 也	
国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長	児 子 真 也	

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 第13回委員会
座席表

資料投影モニター

雲 南 市 長
石 飛 厚 志

島 根 大 学
教 育 学 部 教 授
作 野 広 和

温泉地区地域自主組織
「ダム湖の郷」会長
村 尾 富 義

N P O 法 人
奥 出 雲 布 勢 の 郷
理 安 部 弘 美

と ん ぼ の 会
事 山 田 務 局
幸 則

奥 出 雲 町
定 住 産 業 課 長
石 原 和 夫

島 根 県 土 木 部
斐 伊 川 神 戸 川 対 策 課 長
稲 田 久 人

島 根 県
雲 南 県 土 整 備 事 務 所 長
綿 貫 純 也

国 土 交 通 省
中 国 地 方 整 備 局
出 雲 河 川 事 務 所 長
児 子 真 也

N P O 法 人
さ く ら お ろ ち
理 堀 江 事 研 長
次

事 務 局

記者席 ・ 傍聴席

「尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会」設立趣意

雲南市と奥出雲町は、一級河川斐伊川の源流をなす深い森林や美しい清流、豊かな自然環境を有し、流域には、国指定名勝天然記念物「鬼の舌震」、桜百選に選ばれた「斐伊川堤防桜並木」などの名所が数多く存在し、主要な地域資源を有しています。

現在、尾原ダム周辺では、「尾原ダム・さくらおろち湖祭り」など、地域に根付いた集客力のあるイベントが行われています。

また、湖面を利用したボート競技施設、ダム湖周回道路を利用した自転車競技施設が整備され、「道の駅 おろちの里」や「佐白温泉 長者の湯」、「要害山交流拠点施設 みざわの館」、「下布施農村体験施設」などの施設と連携するなかで、地域の新たな資源として活用されています。

このような中、尾原ダム水源地域では、当地域が有する様々な資源と尾原ダムの積極的な活用等によって水源地域の自立的・持続的な活性化を図るため、雲南市、奥出雲町、地元住民、関係行政機関、ダム管理者等による「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を平成 24 年 9 月に設立し、平成 25 年 9 月 13 日に「尾原ダム水源地域ビジョン」を策定しました。

今後は、水源地域の多様な関係者の結びつきを充実させることによって、流域圏の恵みの源を守り、育むとともに、水源地域の魅力を磨き、活かしながら、自立的・持続的発展を目指していきます。

この「尾原ダム水源地域ビジョン」の着実な実施のためには、地域住民等への情報提供や理解と協力の呼びかけを行うとともに、関係組織相互の支援を働きかけ、協働・連携を実施しながら、状況や水源地域の満足度等を確認するなど、必要に応じて「尾原ダム水源地域ビジョン」の修正・追加等を行うフォローアップが不可欠です。そのため、「尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会」を設立し、「尾原ダム水源地域ビジョン」を円滑かつ効率的に推進していきます。

平成 25 年 9 月 13 日